

長〜い愛着(オンラインショップ)

<https://JituyoKdawri.thebase.in>

お問い合わせは上記のサイトからできます。

京3号本格バードジム 組み立て説明書

内容品一覧

架台組み立てステップ1〜7

- ①キャスター一式 2個
- ②支柱 2個(左+右)
- ③支柱横梁 2本
- ④延長用支柱 1本
- ⑤ジム受け柱 1本

本体バードジム組み立てステップ①〜⑦

- ⑥ジム受け鉄パイプ 1本
- ⑦大リング 2個
- ⑧ぶらんこ小リング 1個
- ⑨噛じりおもちゃ 2個
- ⑩止まり木丸棒 2本

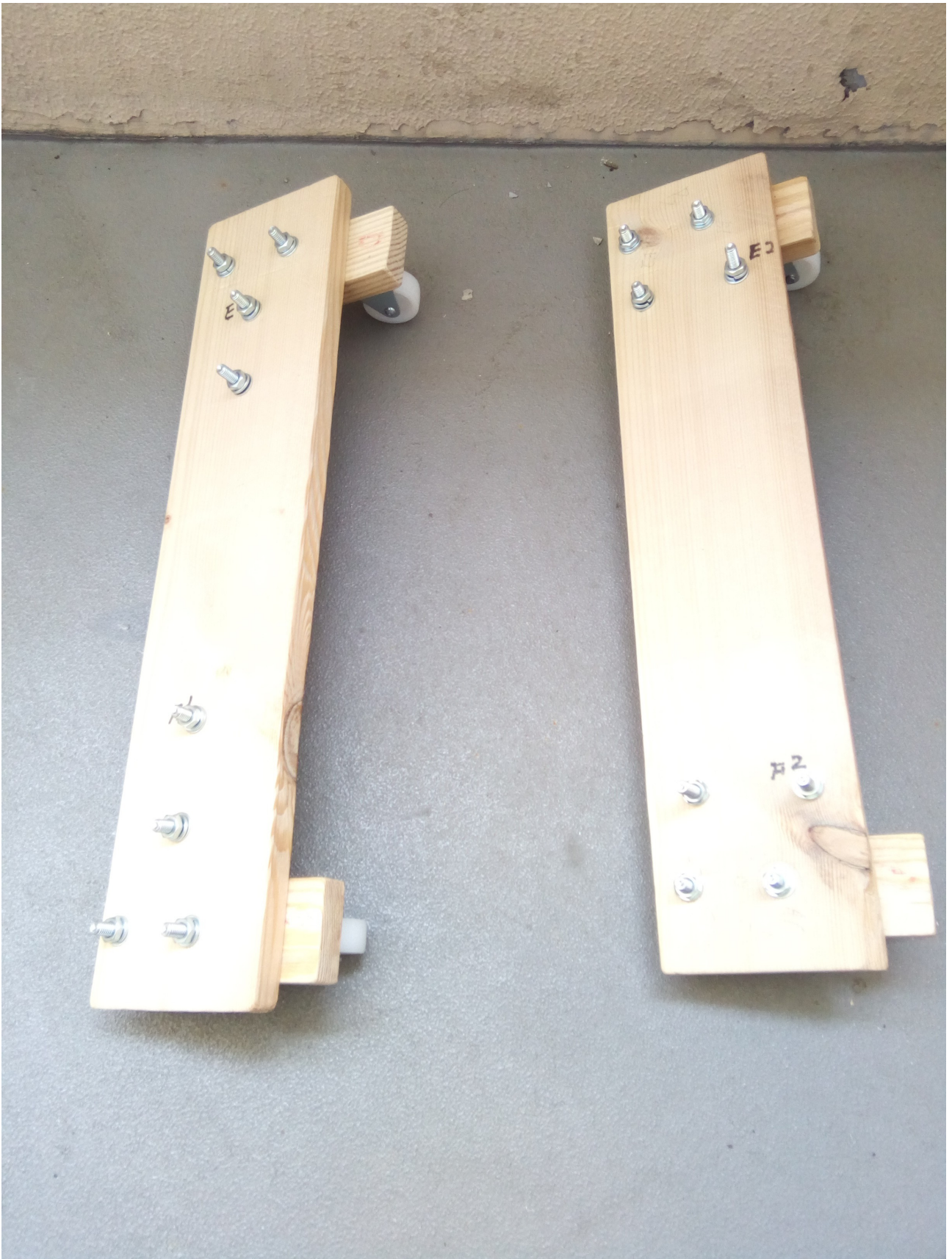
その他

- ⑪組み立て専用スパナ 2本(ボルトのナットを締める時、ボルトの頭とナットの両方にスパナを当てる事で空締め防止ができます)
- ⑫ボルト類一式(各部位にセット)
- ⑬結束バンド(各部位にセット)

架台組み立てステップ1～7

ステップ1

- ①のキャスターを2個、図のように並べます。
- E1～E2 の記号を確認、これを E 列とします。
- F1～F2 の記号も確認、これを F 列とします。



ステップ2

②の支柱を2個準備します。



支柱の裏側に E1～E2 の記号が書いて有るのが1本。

もう1本にはF1～F2が書いて有ります。

それぞれの同じ記号の穴をボルトで連結します。

初めのボルトの締め方は手で軽く締めていきます。

支柱2本の全ての穴が完了してから、スパナを使って2回で締めていきますが、1回目は仮締めでやや軽く締めます。

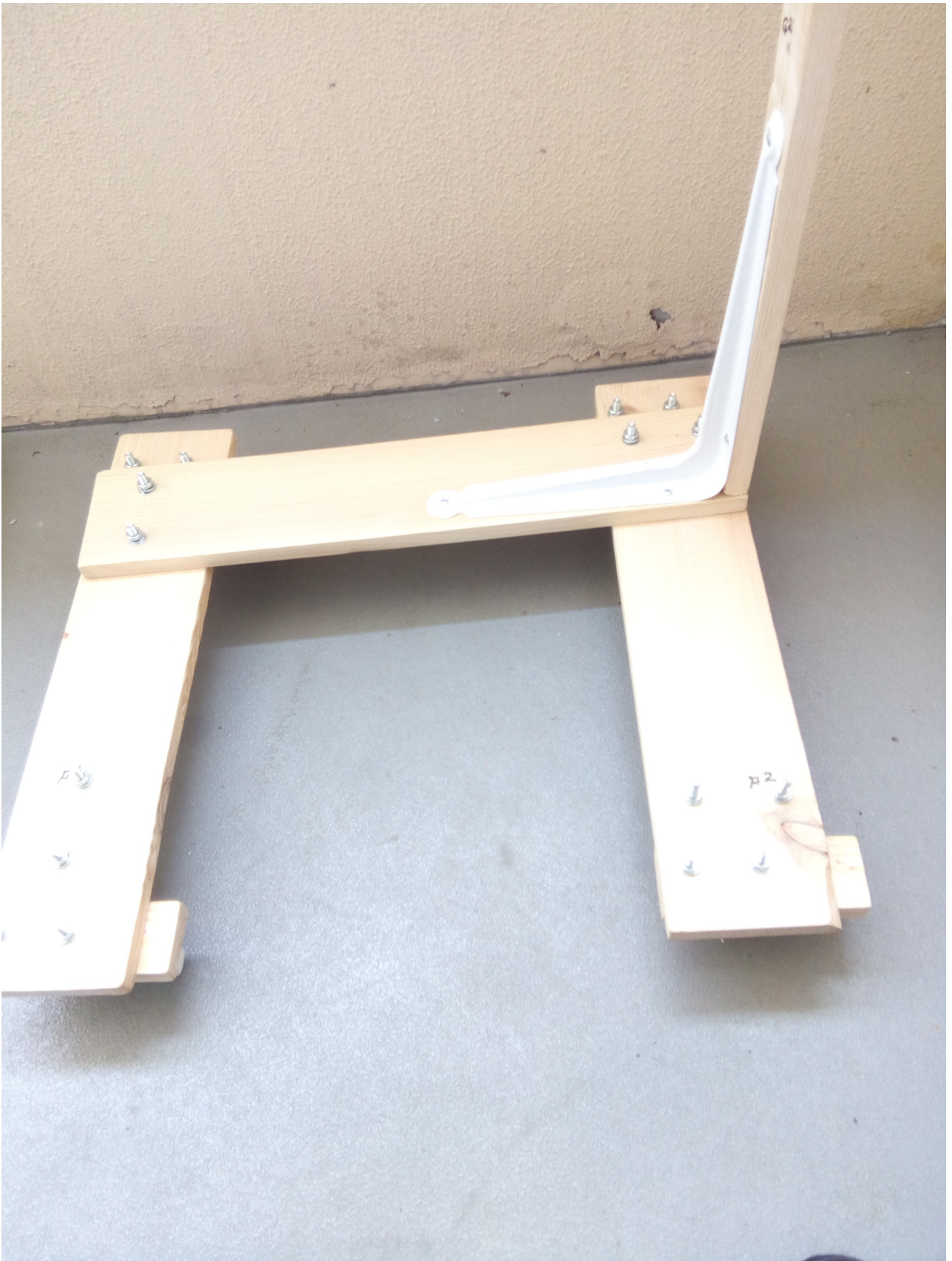
2回目が本締めでスプリングワッシャーが平たくなるまで締めて下さい。

木材ですからいくらでも締まります、締め過ぎに注意。

ボルトは下から通して、ナットが上に出るようにします。

画像を確認しながらやりましょう。

ナットが上に出てれば解体の時や、ネジのゆるみ等が解りやすく、対応がしやすくなります。





この状態でスパナを使って、仮締めしてから本締めします。

ステップ3

③の支柱横梁2本を準備します。



横梁には1本目記号 G1～G2 と2本目 H1～H2 が表記されています。

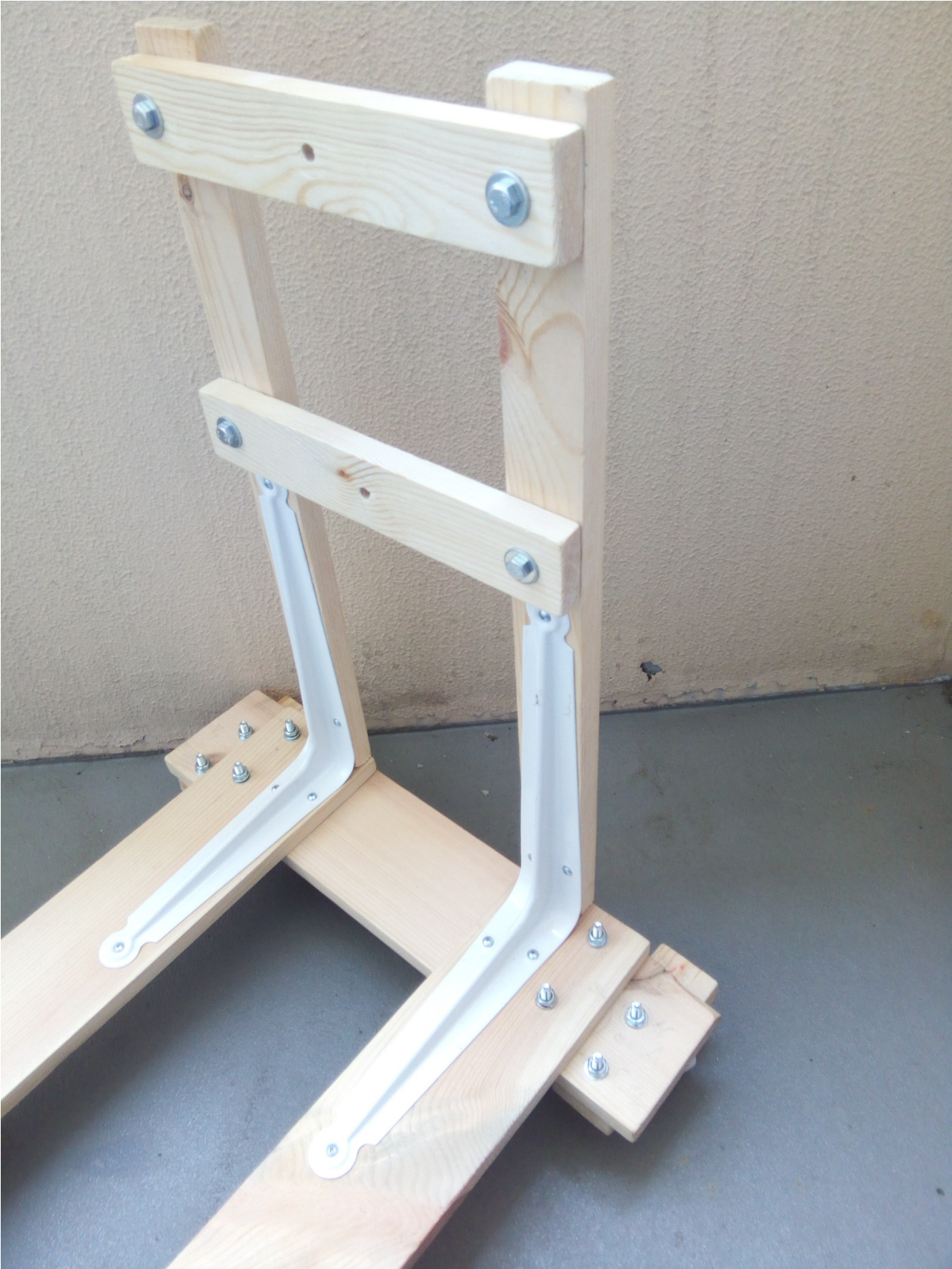
②の支柱にも同様の記号が表記してありますので、同じ記号の穴をボルトで連結します。

2本の横梁を手締めしたら、スパナを使って仮締めから本締めします。

ボルトの向きは画像で確認下さい。

ボルト類はあらかじめセットしてありますので、丸ワッシャーとスプリングワッシャーの順番等が確認できます。

下の画像のようになります。



ステップ4

④延長用支柱 1本



最上段用延長支柱です。

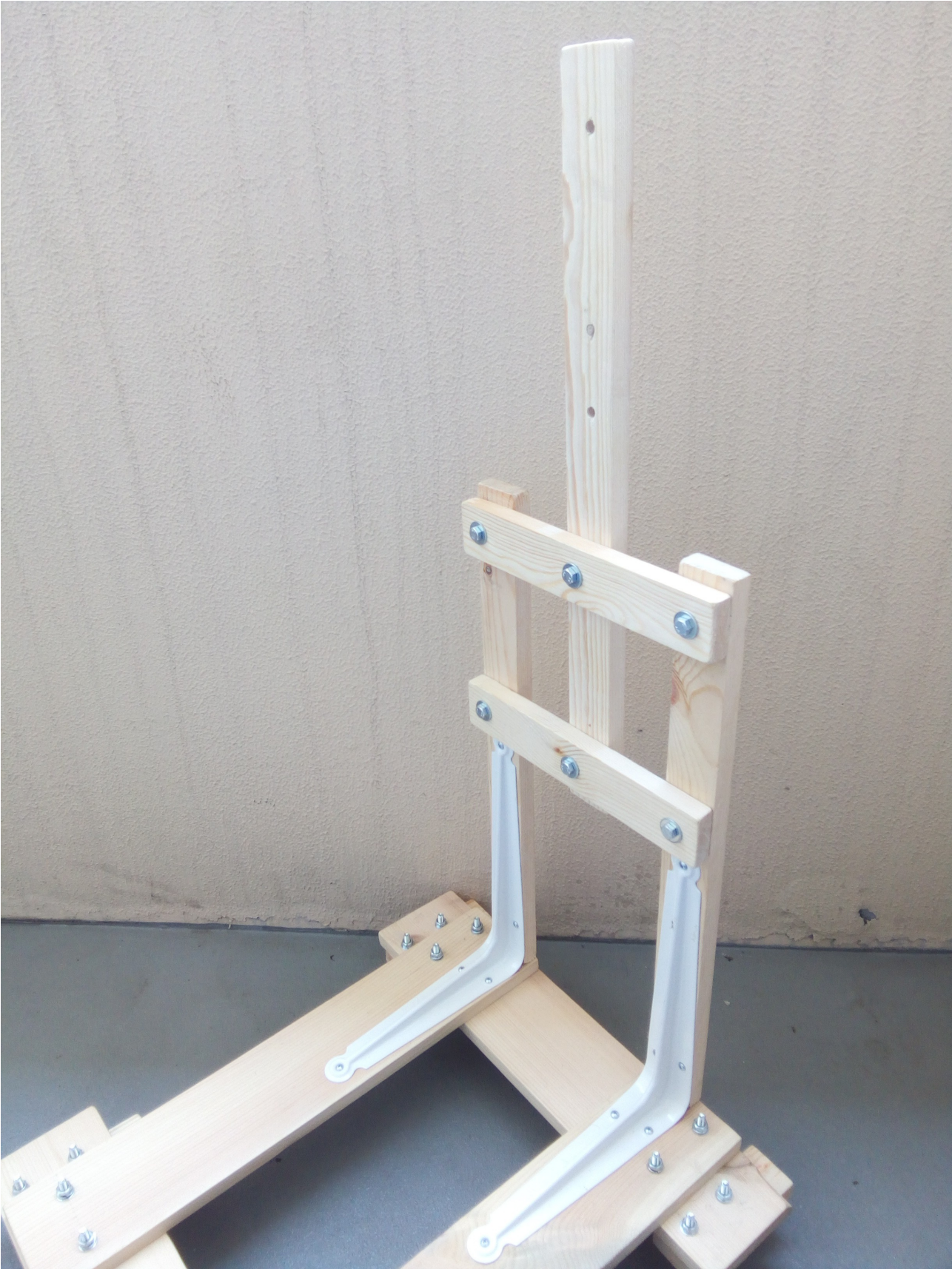
記号が書いてない穴が2個あります。

この穴を先のステップ3の横梁の穴とボルトで連結します。

記号の書いて有る面の向きに注意下さい。

組みあがったら文字が隠れるようにします。

下の画像参照。



ステップ5 最上段高さの架台

⑤ジム受け柱



ジム受けには穴が三つ有ります。

下の穴2か所を延長用支柱の穴とボルトで連結します。

下の画像参照。

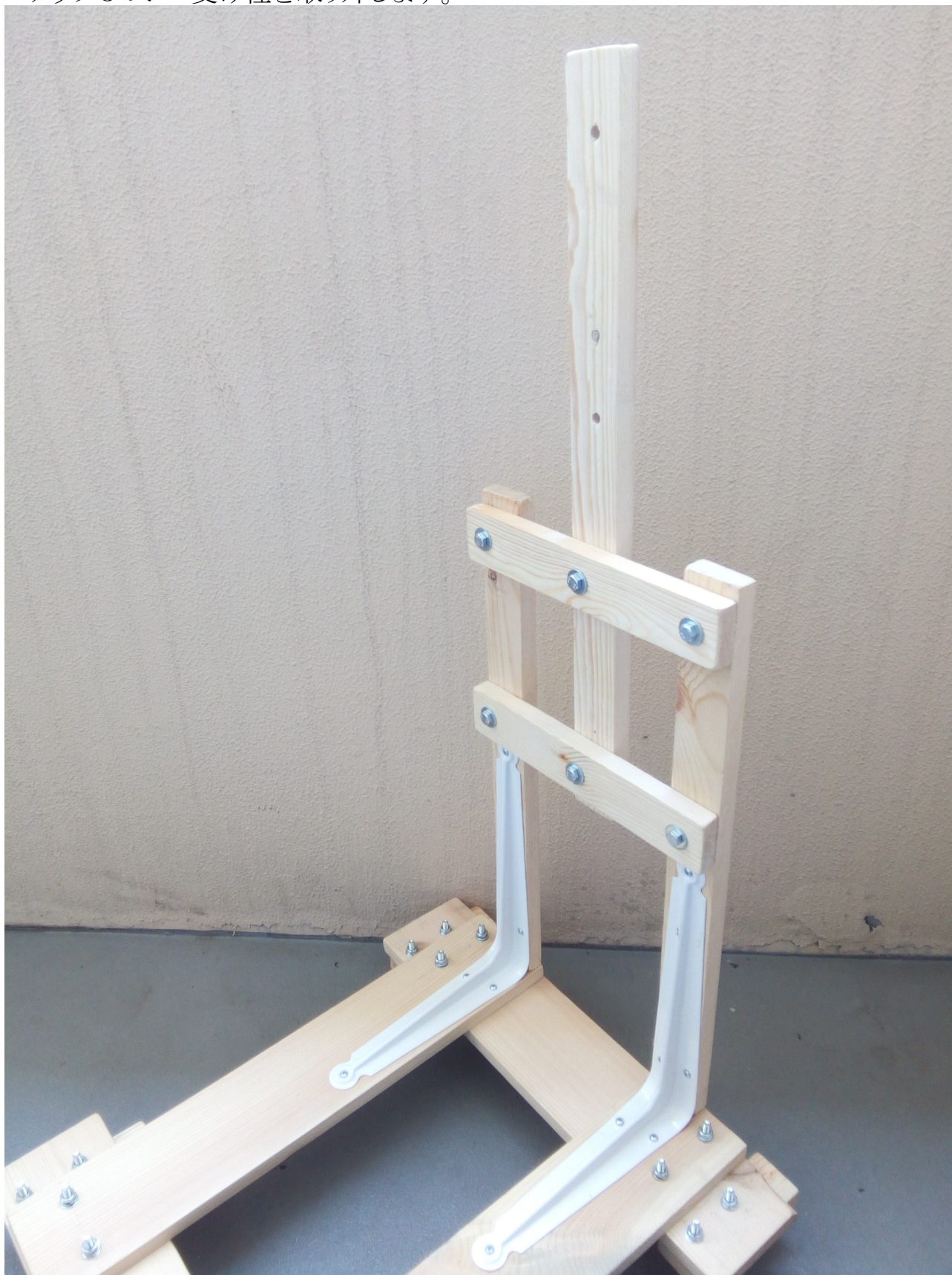


最上段高さの架台の完成。

これに最後に解説する止まり木を取付たら、本格空中バードジムの完成。

ステップ6 中段高さの架台

ステップ5のジム受け柱を取り外します。



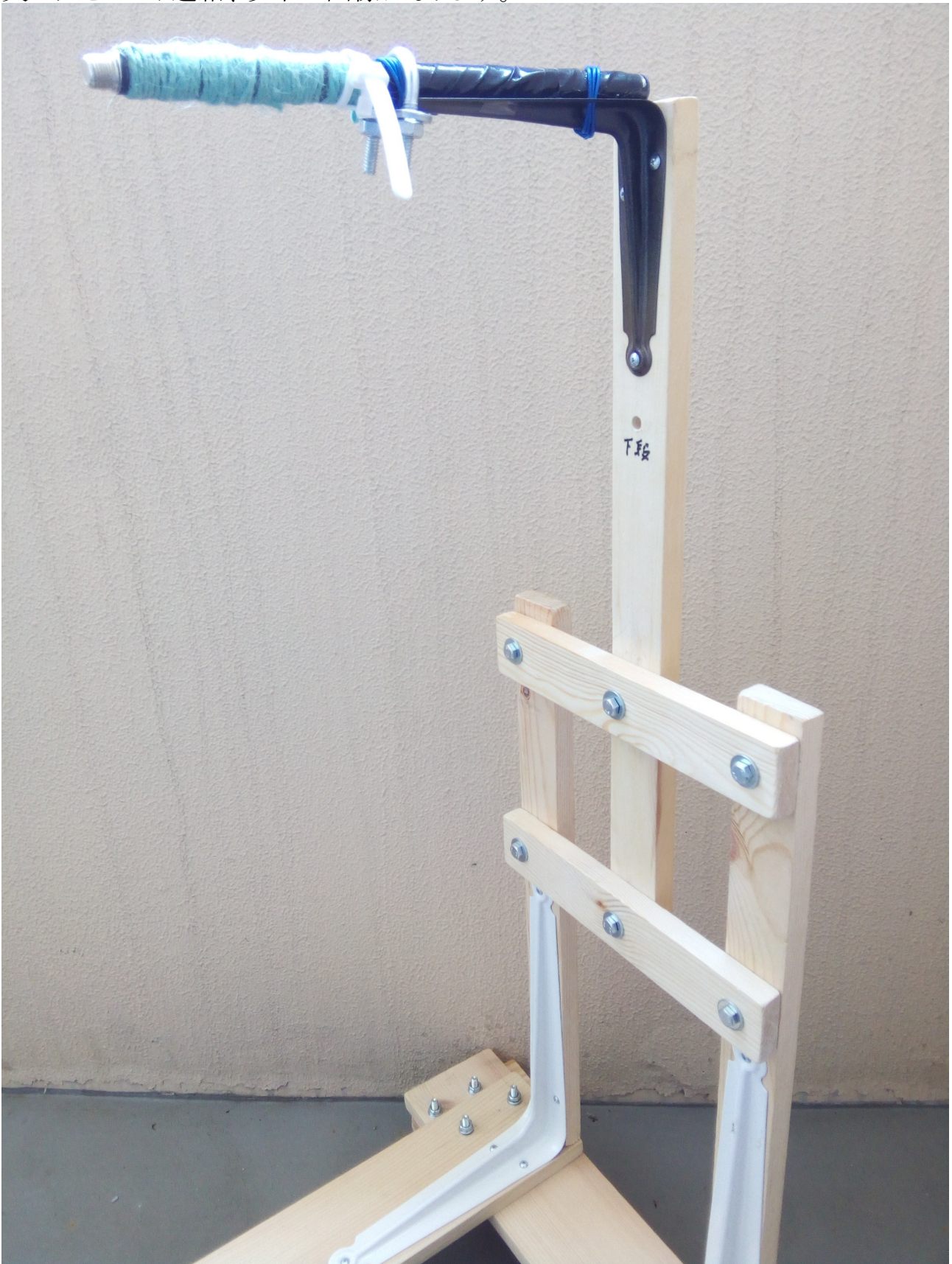
この様になります。

次にステップ4の延長用支柱も取り外します。



この様になります。

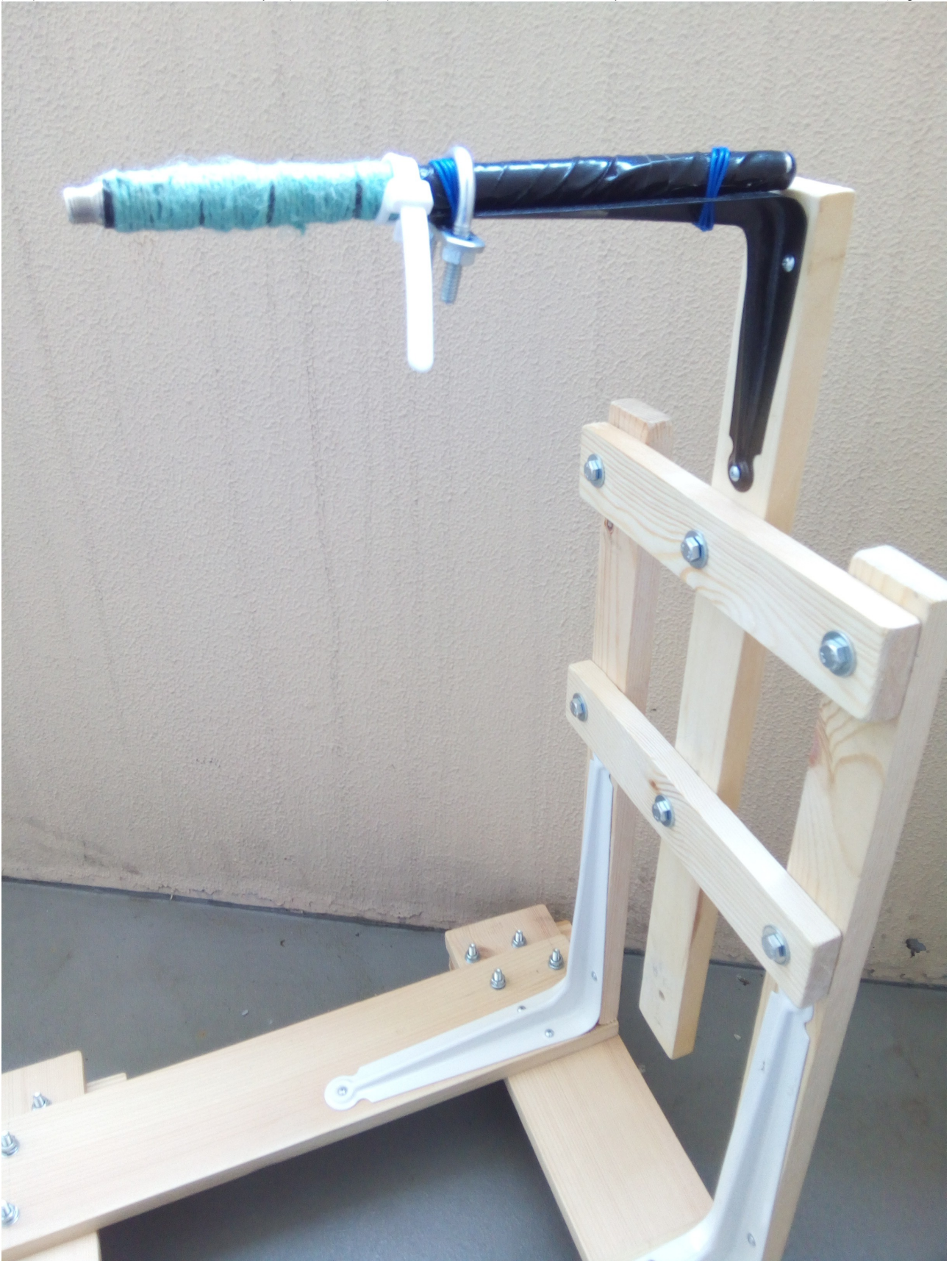
これに、ステップ⑤ジム受け柱の、下から2個の穴をステップ③の支柱横梁2本の中央の穴とボルト連結、以下の画像になります。



中段高さの架台完成。

ステップ7 下段高さの架台

延長用支柱を取り外し、今度は延長用支柱の上から2個の穴とボルト連結します。



下段高さの架台完成。

以下の本体バードジムの組み立て説明書は別ファイルをご覧ください。

本体バードジムの組み立て説明書

⑥ジム受け鉄パイプ 1本

⑦止まり木丸棒 2本

⑧大リング 2個

⑨ぶらんこ小リング 1個

⑩噛じりおもちゃ 2個

本体バードジム組み立てステップ①～⑦